

## 第 15 回 昭和の森親子田んぼ教室

### 親子田んぼ教室 2「草取り」

岡田富子（千葉市）

日 時：2017 年 6 月 24 日（土）9：30～12：00 天気 晴れ

参加者：大人 11 名 子ども 7 名

担当指導員：佐野由輝 武田宏子 山下美佐子 山田益弘 藤田浩二 岡田富子

千葉市緑公園緑地事務所：三部さん

今年で 6 年目の親子田んぼ教室です。学校行事などと重なり、前回より参加人数が少ない中、皆で力を合わせ、草取りを実施しました。運良く天気に恵まれ、森の木陰、田んぼの水の中で気持ちよく作業が進みそうです。始めに、毎年田んぼに生えてくるコナギ、ヘラオモダカ、ヒルムシロなどの雑草の説明。田んぼを一つのアンパンに例えての雑草と稲で栄養を取り合っている話は面白く、子どもたちにも分かりやすかった様子でした。次に、稲の成長ぶりを計測。4 月 29 日に 3 株ずつ植えた稲が 56 日で平均 21 株に分けつ、背丈は 43 cm～60 cm に大きく成長していました。いよいよメダカやオタマジャクシ、子ガエルなど生き物の姿が沢山見える田んぼに足を入れ草取り開始です。尖った稲の葉で、目を突かないように注意しながら雑草を根もとから抜き、抜ききれない小さな草は手でかきまわしてから足で踏み、土の中へ！田んぼの中はトロトロした柔らかい土で気持ちいいですが、足を抜きにくく尻もちをつかないようふんばらなければなりません。水温の関係でしょうか？田んぼの場所によって稲の成長に差があり、大きく育った所では雑草も沢山生えています。水温が低い水源に近いところは稲の成長もあまりよくなく、草も少なかったように見えました。きれいになった田んぼは稲が気持ちよさそうに風にそよんでいます。草取り後水路で手足を洗い、網を持って、水辺の生き物を探しに！捕まえた生き物をトレーや虫籠に入れて観察。沢山の種類が見られ、中には外国からきたものも入っています。勇気を出して初めてアメリカザリガニを手にした子もうれしそうでした。メダカとカダヤシの違い、シオカラトンボの雄と雌の違い等を説明。皆熱心に耳を傾けていました。最後に一番印象に残った生き物の絵を描いて皆の前で発表して頂きました。



**今日観られた生き物：**キマワリ オオヒラタシデムシ ヤツボシハムシ ベニシジミ スジグロシロチョウ オオシオカラトンボ（稲の根もとで羽化 羽化殻） シオカラトンボ雄雌 ノシメトンボ シオヤトンボ雌 ヤマサナエヤゴ メダカ多数 クロズマメ ゲンゴロウ ヒメアメンボ シマアメンボ マツモムシ コミズムシ多数 アメリカザリガニ シナヌマエビ？ カワニナ ニホンアカガエル（子ガエルも） シュレーゲルアオガエルオタマジャクシ ウシガエル（声） コバネイナゴ（2 齢位） キクヅキコモリグモ（卵囊付き） キバラコモリグモ スジブトハシリグモ等